

図表 280 S-19 地区の木材量(広葉樹)

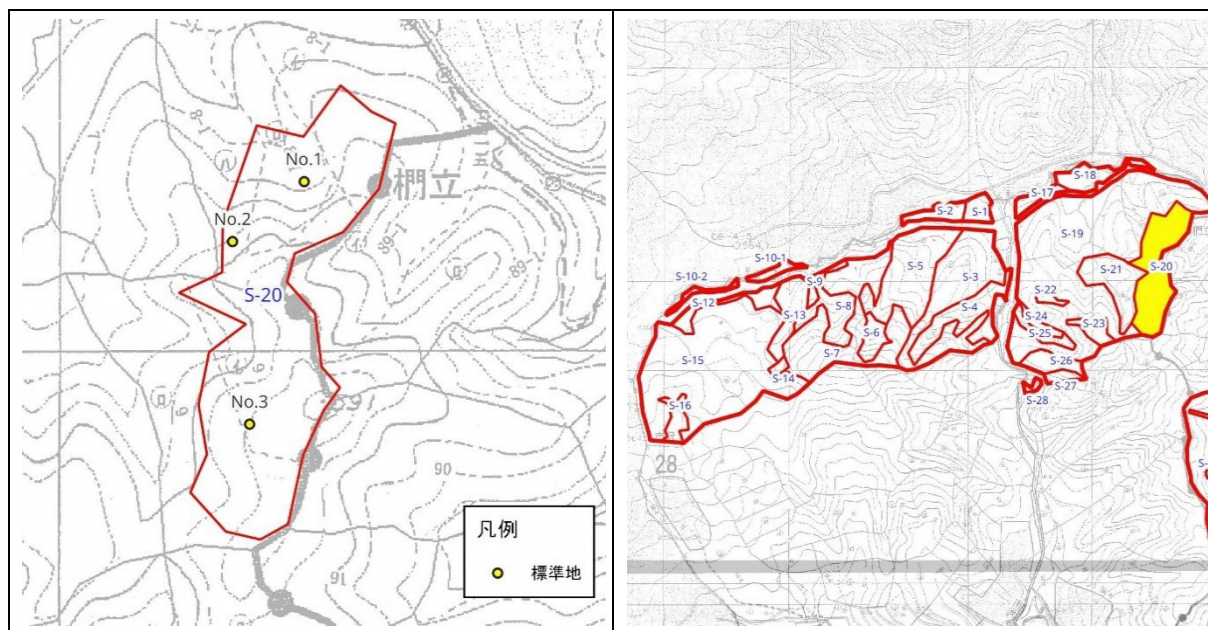
区分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		687.89	m3		—	
内 訳	A・B材	464.33	m3	67.5%	搬出見合わせ	
	C・D材	95.62	m3	13.9%	搬出見合わせ	
	林地残材	127.26	m3	18.5%	整理集積	
枝葉		220.12	m3	拡大係数※ 1.32	整理集積	

※拡大係数 = 枝葉を含めた体積 / 幹材積

針葉樹	1.23
広葉樹	1.32

1.21 詳細設計(S-20 地区)

図表 281 S-20 地区



標準地調査の結果をもとに、S-20 地区の現況について図表 282 にまとめる。

図表 282 S-20 地区の現況

施業種	更新伐(本数調整伐)
樹種・齢級	アカマツ・広葉樹混交、XIV～XVI齢級(68～80年生)
実測面積	1.13ha
標準地 ^{※1}	3箇所(300m ²)
本数・蓄積 ^{※2}	2,712本(2,400本/ha)、348.04m ³ (308.0m ³ /ha)
直径・樹高 ^{※2}	平均直径14cm、平均樹高11m、形状比79
目標林型	天然生林・成熟段階
立木の状況	株立ち・二又等の不良木が発生している。広葉樹が多く侵入している。アカマツの立ち枯れ木も見られる。
下層植生	サクラ、コシアブラ、カエデ等の高木性樹種、ヤマツツジ、ガマズミ等の低木性樹種、ササが見られる。ツルも少し見られる。

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のみ不值。

○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

図表 405 S-37 地区の伐採材積

面積	伐採材積計算式	材積
5.72ha	$5.72 \times 142.5 \text{ m}^3/\text{ha}$	815.10m ³

図表 406 S-37 地区の木材量(広葉樹)

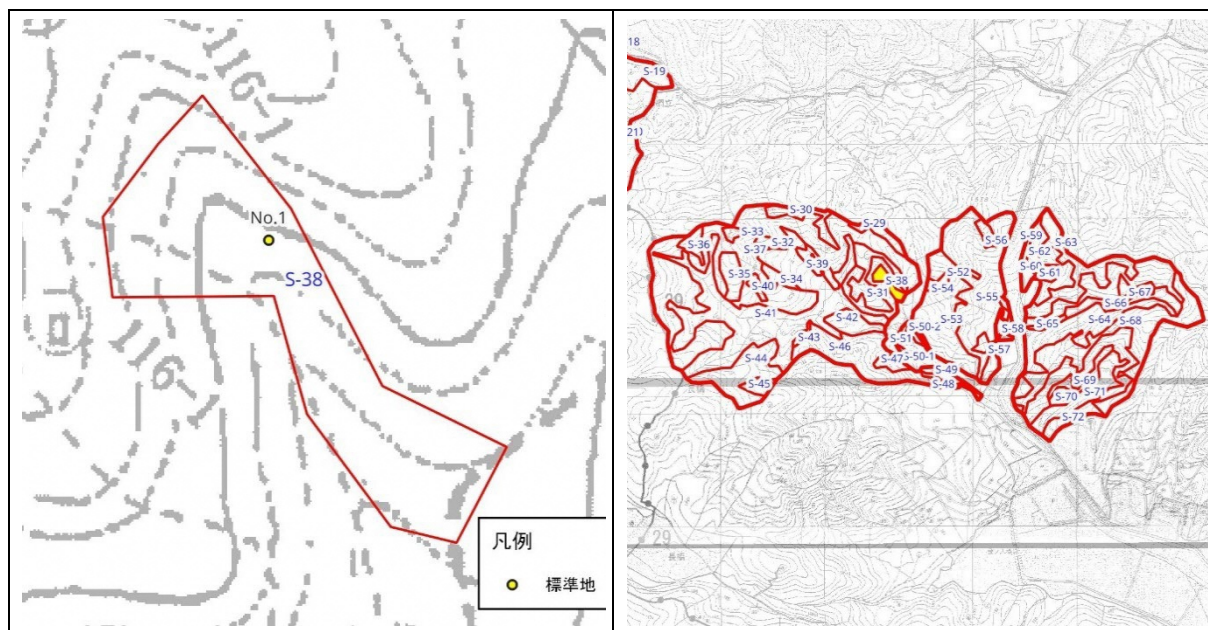
区分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		815.10	m ³		—	
内 訳	A・B材	550.19	m ³	67.5%	搬出見合わせ	
	C・D材	113.30	m ³	13.9%	搬出見合わせ	
	林地残材	150.79	m ³	18.5%	整理集積	
枝葉		260.83	m ³	拡大係数※ 1.32	整理集積	

※拡大係数 = 枝葉を含めた体積 / 幹材積

針葉樹	1.23
広葉樹	1.32

1. 39 詳細設計 (S-38 地区)

図表 407 S-38 地区



標準地調査の結果をもとに、S-38 地区の現況について図表 408 にまとめる。

図表 408 S-38 地区の現況

施業種	間伐
樹種・齢級	スギ、IX 齢級 (43 年生)
実測面積	0.15ha
標準地※1	1 箇所 (100m ²)
本数・蓄積※2	195 本 (1,300 本/ha)、94.50m ³ (630.0m ³ /ha)
直径・樹高※2	平均直径 23cm、平均樹高 20m、形状比 87
目標林型	人工林・成熟段階
立木の状況	曲がり、傾斜等の不良木が発生している。被圧された劣勢木も見られる。
下層植生	モミ等の高木性樹種、ヤマツツジ等の低木性樹種が見られる。 スギの枯損木が 6 本 (1) 胸高直径 12cm、樹高 10m (2) 胸高直径 12cm、樹高 13m (3) 胸高直径 12cm、樹高 9m (4) 胸高直径 10cm、樹高 8m (5) 胸高直径 14cm、樹高 12m (6) 胸高直径 12cm、樹高 12m

※1 各標準地の調査結果は、別紙にまとめる。

※2 上層木のための値。

図表 452 S-44 地区の整備後の状況

区 分	整備前	更新伐 (受光伐) ⇒	整備後※
樹種	広葉樹		広葉樹
実測面積	1.02ha		1.02ha
本数	2,550 本(2,500 本/ha)		816 本(800 本/ha)
蓄積	229.19m ³ (224.7m ³ /ha)		98.94m ³ (97.0m ³ /ha)
直径、樹高	12cm、11m		14cm、12m
相対幹距比 (Sr)	18%		29%
形状比(H/D)	形状比 92		形状比 86

※作業道開設の伐開による影響を考慮しない。

○将来計画

今回の更新伐によって切り株から萌芽が発生する。萌芽に優劣の差が生じる 3 年経過頃に不用萌芽の除去を行う。萌芽は優勢なものを 1 株に 1～3 本残し、それ以外はかき取るものとする。その後、萌芽枝(更新木)が過密状態となる段階において、適宜除伐を実施する。

図表 453 S-44 地区の将来計画

年	齢級	施業
令和 4 年	X II (57～60 年生)	更新伐(受光伐) 68.0%(整備後本数 800 本/ha)
・・・	・・・	・・・
令和 7 年	I	不用萌芽の除去
・・・	・・・	・・・
令和 14 年～	III	除伐

○木材利用計画

伐採により発生する木材量と利用方法をまとめる。

図表 454 S-44 地区の伐採材積

面積	伐採材積計算式	材積
1.02ha	$1.02 \times 127.7 \text{ m}^3 / \text{ha} \times 100 \text{ m}^3 / \text{ha}$	130.25m ³

図表 455 S-44 地区の木材量(広葉樹)

区分		内 容			利用方法	材区分
伐採材積(立木)		130.25	m3		—	
内 訳	A・B材	87.92	m3	67.5%	搬出見合わせ	
	C・D材	18.10	m3	13.9%	搬出見合わせ	
	林地残材	24.10	m3	18.5%	整理集積	
枝葉		41.68	m3	拡大係数※ 1.32	整理集積	

※拡大係数 = 枝葉を含めた体積 / 幹材積

針葉樹	1.23
広葉樹	1.32

地区	工種	樹種	面積 ha	利用材積	100m ³ /ha 超過材積	100m ³ /ha 不足材積	配分率 (%)	残置材積	搬出材積 (設計数量)
					a	b	d=a/a の合計	e=c*d	
S-81	間伐	アカマツ	0.58	20		38			20
S-82	間伐	アカマツ	1.32	195	63		4.824	42	153
S-83	間伐	スギ	0.07	8	1		0.077	1	7
S-85	間伐	アカマツ	0.12	18	6		0.459	4	14
S-86	間伐	スギ	0.21	46	25		1.914	17	29
S-88	間伐	アカマツ	3.09	418	109		8.346	72	346
S-91	間伐	ヒノキ・ 広葉樹	0.09	2		7			2
S-92	間伐	ヒノキ	0.40	34		6			34
S-93	間伐	ヒノキ	0.42	29		13			29
S-94	間伐	ヒノキ	0.10	10		0			10
S-95	間伐	スギ	0.09	15	6		0.459	3	12
S-96	間伐	アカマツ	0.06	3		3			3
S-98	間伐	ヒノキ	0.12	11		1			11
S-99	間伐	アカマツ	0.53	86	33		2.527	22	64
S-100	間伐	アカマツ	0.59	53		6			53
S-101	間伐	スギ	1.09	204	95		7.274	63	141
S-103	間伐	ヒノキ	0.25	22		3			22
S-104	間伐	アカマツ	0.85	132	47		3.599	31	101
S-105	間伐	ヒノキ	0.21	41	20		1.531	13	28
合計			34.44	4,312	1,306	438		868	3,444
					残置材積 c	868			

図表 884 更新伐 搬出材積（設計数量）の調整※全体で 100m³/ha となるよう各地区の材積を調整する。

地区	工種	樹種	面積 ha	利用材積	100m ³ /ha 超過材積	100m ³ /ha 不足材積	配分率 (%)	残置材積	搬出材積 (設計数量)
					a	b	d=a/a の合計	e=c*d	
S-1	更新伐	広葉樹	0.18	16		2			16
S-3	更新伐	広葉樹	1.62	166	4		0.775	3	163
S-15	更新伐	広葉樹	3.84	422	38		7.364	30	392
S-18	更新伐	広葉樹	0.34	8		26			8
S-19	更新伐	広葉樹	4.67	560	93		18.023	560	0
S-20	更新伐	アカマツ・広葉樹	1.13	162	49		9.496	39	123
S-22	更新伐	アカマツ・広葉樹	0.07	14	7		1.357	6	8
S-23	更新伐	アカマツ・広葉樹	0.17	32	15		2.907	12	20
S-27	更新伐	広葉樹	0.10	18	8		1.550	6	12
S-29	更新伐	アカマツ・広葉樹	0.21	48	27		5.233	22	26
S-31	更新伐	アカマツ・広葉樹	0.57	138	81		15.698	65	73
S-32	更新伐	アカマツ・広葉樹	0.09	10	1		0.194	1	9
S-33	更新伐	アカマツ・広葉樹	0.08	22	14		2.713	11	11
S-36	更新伐	アカマツ・広葉樹	0.17	38	21		4.070	17	21
S-37	更新伐	広葉樹	5.72	663	91		17.636	663	0
S-44	更新伐	広葉樹	1.02	106	4		0.775	106	0

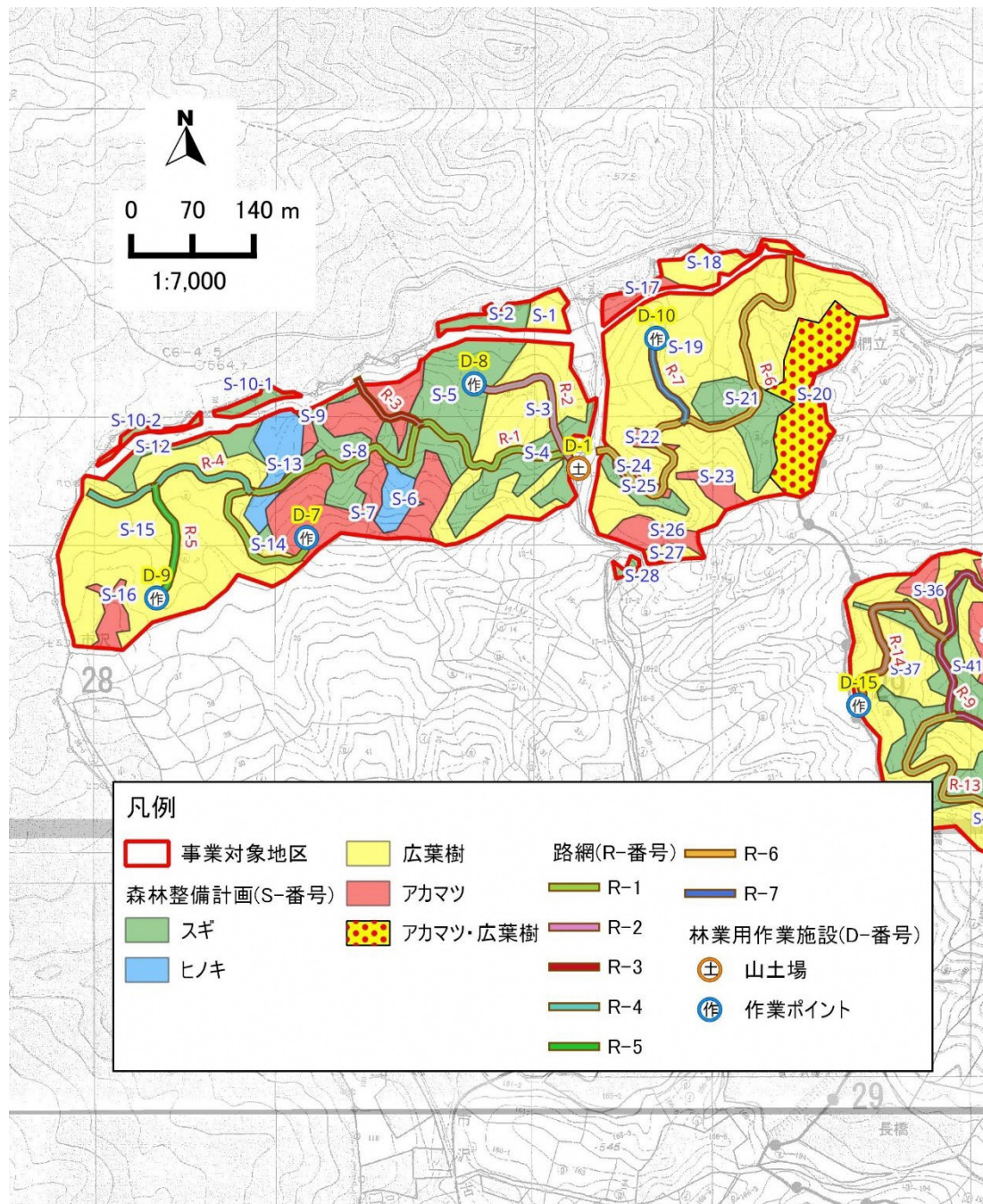
地区	工種	樹種	面積 ha	利用材積	100m ³ /ha 超過材積	100m ³ /ha 不足材積	配分率 (%)	残置材積	搬出材積 (設計数量)
					a	b	d=a/a の合計	e=c*d	
S-46	更新伐	広葉樹	1.30	134	4		0.775	3	131
S-50	更新伐	広葉樹	0.11	10		1			10
S-55	更新伐	広葉樹	2.38	214		24			214
S-62	更新伐	広葉樹	0.61	86	25		4.845	20	66
S-64	更新伐	広葉樹	3.25	289		36			289
S-84	更新伐	広葉樹	0.18	8		10			8
S-87	更新伐	アカマツ・広葉樹	0.07	16	9		1.744	7	9
S-89	更新伐	広葉樹	0.12	7		5			7
S-90	更新伐	アカマツ・広葉樹	0.18	24	6		1.163	5	19
S-97	更新伐	広葉樹	0.16	22	6		1.163	5	17
S-102	更新伐	広葉樹	0.21	34	13		2.519	10	24
合計			28.55	3,267	516	104		1,591	1,676
					残置材積 c	412			

2. 路網整備

2.1 中心線測量の結果

森林作業道の平面線形について中心線測量を行った。中心線測量の結果を図表 885～図表 887 にまとめる。

図表 885 路網整備の平面図（西部地区）



資料：【1/5,000 森林計画図】